

水稻新品種「ほほえみ」について

滝田 正・八木忠之¹⁾・西山 壽²⁾・日高秀光³⁾・荒砂英人・轟 篤⁴⁾

小八重雅裕³⁾・川口 満・愛甲一郎⁵⁾・吉岡秀樹・吉田浩一・園田豊和⁶⁾

(宮崎県総合農業試験場・¹⁾九州農業試験場・²⁾もと九州農業試験場・³⁾宮崎県農蚕園芸課・⁴⁾宮崎県農業大学校
宮崎県国富農業改良普及センター・⁵⁾宮崎県小林農業改良普及センター)

Tadashi TAKITA, Tadashi YAGI, Hisashi NISHIYAMA, Hidemitsu HIDAKA, Hideto ARASUNA, Atsushi TODOROKI,
Masahiro KOBAE, Mitsuru KAWAGUCHI, Ichirou AIKOU, Hideki YOSHIOKA, Kouichi YOSHIDA
and Toyokazu SONODA: A New Rice Cultivar "Hohoemi"

水稻新品種「ほほえみ」は、1995年から福岡県および宮崎県において奨励品種に採用され普及に移された。ここに品種の育成経過並びに特性概要を報告し普及の参考に供したい。本品種の育成に関し、種々ご高配をいただいた関係機関各位に深く謝意を表する。

1. 来歴および育成経過

本品種は1983年に、宮崎県総合農業試験場(農林水産省水稻育種指定試験地)において、早生、良食味、穂発芽難、安定多収を目標に「愛知52号」を母、「ミネアサヒ」を父に交配を行い、世代促進、個体選抜、系統選抜を経て、1991年F₁₀より「南海121号」の系統名を付し、関係県に配布して地方適応性を検討してきたもので、1995年8月に「水稻農林338号」と登録、「ほほえみ」と命名された。

2. 特性の概要

1) 形態的特性:「日本晴」と比較すると、稈長は同程度の中稈で、穂長はやや短く、穂数はやや多い偏穂数型である。止葉は短めで直立し、草姿は良い。ふ先色は黄白で、稀に短芒があり、粒着密度はやや密で、脱粒性は難である。

2) 生態的特性:出穂期・成熟期は普通期栽培で「日本晴」と同程度で、早植すると「コシヒカリ」と同程度になり、「ミネアサヒ」と同型の出穂をする。耐倒伏性は「日本晴」より強いやや強で、穂発芽性は「ミネアサヒ」より難、収量は「日本晴」と同程度である。

いもち病抵抗性遺伝子型はPi-aとPi-lをもつと推定され、葉いもち・穂いもち抵抗性は中である。白葉枯病抵抗性品種群は金南風群に属し、圃場抵抗性は中、縞葉枯病には罹病性である。

3) 品質・食味特性:梗種で、玄米の粒形はやや円、粒大はやや小で、外観品質は腹白が少なく良質で「日本晴」より優れている。食味は「日本晴」より明らかに優れ、「ミネアサヒ」よりやや優れ、「ヒノヒカリ」並みの上の中である。

3. 奨励品種採用理由

福岡県では早生種で良食味品種がないため、熟期分散上問題となっており、早生の「日本晴」に替わる良食味品種が求められている。「ほほえみ」は早生で極良食味、穂いもちに弱くないことから「日本晴」、「ミネアサヒ」等の品種に替えて2000haほどの作付が見込まれる。

宮崎県の中山間地域向け品種は食味が不十分で、「ヒノヒカリ」が増加し、いもち病の発生が心配されており、また標高の高い地域においては「コガネマサリ」等の奨

励品種では熟期が遅いため、奨励品種でない早生品種が作付され種子供給に問題がある。「ほほえみ」は早生でいもち病に中程度に強く、極良食味であることから「ミネアサヒ」、「コガネマサリ」等の品種に替えて1000haほどの作付が見込まれる。

4. 栽培上の注意

1) 感光性が弱く年次により出穂期が変動しやすいので、出穂期変動に留意し、適切な肥培管理に努める。

2) いもち病抵抗性は中程度なので適期防除に努める。

第1表 「ほほえみ」の特性概要

形 質	ほほえみ	ミネアサヒ	日本晴
早 晩 生 草 型	早生の早 偏穂数	早生の早 偏穂数	早生の晩 偏穂数
出穂期(月日)	8.19	8.18	8.19
成熟期(月日)	9.22	9.21	9.21
稈 長(cm)	75	75	75
穂 長(cm)	20.0	20.1	20.2
穂 数(本/m ²)	374	374	359
芒の多少・長短	稀短	稀短	稀短
ふ 先 色	黄白	黄白	黄白
脱 粒 性	難	難	難
耐 倒 伏 性	やや強	やや強	やや弱
穂 発 芽 性	難	中	やや易
葉 い も ち	中	中	中
穂 い も ち	中	中	中
白 葉 枯 病	中	中	中
縞 葉 枯 病	罹病性	罹病性	罹病性
玄米重(kg/a)	45.3	44.2	45.7
同上標準比率(%)	99	97	100
玄米千粒重(g)	21.6	21.0	23.4
玄米品質	中上	中上	中中
食 味	上中	上中	中上

注) 育成地における1991~1994年の標準栽培